

No.10 多発している起因物なし - その他の死亡災害事例（2021年）

2021年発生月	発生時	死亡災害事例	業種 (小) コード	起因物 (小) コード	事故 の型 コー ド	労働 者 規 模
11	0 ～ 2	被災者は住宅型有料老人ホームで当直勤務中、入居者にハンマーで頭部を殴打され1階の事務室で死亡されているところを発見された。	130201	921	90	10 ～ 29
7	16 ～ 18	被災者は事務職兼運転手として従事していたが、心疾患により死亡。発症2か月前の平均時間外労働時間数は70時間を超えていたもの。	40301	921	90	30 ～ 49
7	8 ～ 10	被災労働者が自家乗用車を運転し、港から海に突っ込んで海中に沈み溺死したもの。長時間労働による精神疾患発症により自死した。	110101	921	90	100 ～ 299
6	12 ～ 14	朝から被災者は事業場の敷地内のビニールハウスの裾部分を土に埋める作業を行っており、数時間後に作業を中断して事業場へ戻った。その数分後までは事業場に被災者の姿が確認されているが、正午過ぎには姿が認められなかったところ、駐車場の自家用車内で倒れており、死亡したもの。	170209	921	90	30 ～ 49
6	12 ～ 14	物流センターで荷積作業中の自社トラック荷台の中で倒れているところを発見され救急搬送されたが、同日、搬送先の病院で死亡が確認されたもの。	40301	921	90	30 ～ 49
6	14 ～ 16	上司による叱責等の職場環境により精神障害を発病し縊死したものの。	11301	921	90	50 ～ 99

6	0 ～ 2	被災者はトラックに乗務していたところ、内因性突然死を発症し、死亡した。被災者が長時間の過重業務に従事し、業務による明らかな過重負荷を受けたことにより、本件疾病を発症したもの。	40301	921	90	～ 29
5	2 ～ 4	配送時、ガソリンスタンドで給油し、洗車をしている途中倒れているのを店員が発見し、救急搬送されたものの死亡したもの。	40301	921	90	～ 49
4	4 ～ 6	被災者は自動車運転手として、事業場からの待機指示を受け、災害発生地において車内待機していたが、その後の事業場配車指示に対し応答がなく、同僚が捜索し、発見される。虚血性心疾患で死亡と検案により推定されたもの。	40301	921	90	～ 99
3	16 ～ 18	新築工事の下請けとして空調設備設置業務の施工管理を行っていた被災者が、現場事務所内で椅子に座り事務作業中、突然首を押さえながら床に倒れたため、救急車で病院に搬送し、治療を受けていたが、翌日に急性大動脈解離で死亡したもの。	30203	921	90	1～ 9
3	14 ～ 16	被災者が、自殺したもの。被災者は、会社の経営に影響する製品品質不良問題への対応を行っており、約1か月で125時間45分の時間外労働を行っていた。	11304	921	90	～ 499
3	16 ～ 18	被災地において、次の作業再開まで被災者1名で4トンダンプ運転席にて待機していたところ、30分後の作業再開の呼びかけに応答せず、現場作業員が近寄ったところ反応や意識がなく救急搬送されたが、同日、死亡が確認されたもの。発症直近6か月の時間外・休日労働時間数について、毎月90時間を超えていたことが認められた。	30106	921	90	～ 49
3	0 ～ 2	被災労働者は、「うつ病エピソード（F32）」を発症したものと判断した。また、「仕事内容・仕事量の（大きな）変化を生じさせる出来事があった」に該当する出来事を評価し、その心理的負荷の強度は「強」と判断した。	170209	921	90	～ 999
		映画館の通路にて、シアター内の天井レベルを測定するため、待機				

3	6 ～ 8	していたところ、具合が悪くなりしゃがんでいた。映画館スタッフが声をかけると、一度立ち上がったため、同スタッフはその場を離れたが、その直後に仰向けに倒れた。救急搬送翌日、死亡が確認されたもの。	30209	921	90	1～ 9
3	16 ～ 18	商業施設屋上でオレンジ色バンドで縊頸したもの。（自殺）	170209	921	90	1～ 9
2	10 ～ 12	荷主先において、被災者はトラックの荷台上で木材チップの均し作業中、上行大動脈解離を発症し、荷台から地面（コンクリート面）に墜落した。その後、トラックの横で意識なく倒れている被災者を、荷主先労働者が発見、病院へ搬送されるも同日中に死亡が確認されたもの。なお、被災者はヘルメットを着用しており頭部に目立った外傷はなかった。	40301	921	90	50 ～ 99
2	18 ～ 20	配送のためトラックを運転して国道を走行中、意識を失い、中央分離帯に乗り上げて停止したもの。	40301	921	90	30 ～ 49
1	0 ～ 2	支店長として勤務、災害発生日は公休日であったが、同僚が業務の関係で被災者の携帯電話に数回連絡したが不通のため、夜に被災者の社宅アパートへ行ったところ、すでに死亡（心臓性突然死）していた。	40301	921	90	50 ～ 99
1	8 ～ 10	出張中、宿泊していたホテルの近くの橋から飛び降り死亡。	120102	921	90	300 ～ 499
1	14 ～ 16	被災者は事業場内にて気を失い、急性心筋梗塞の疑いにより死亡したもの。被災者は、心理的負荷の高い業務に従事していたことに加え、発症前1か月で約74時間、発症前2か月乃至6か月において最大約70時間の時間外労働に従事していた。	40301	921	90	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_38.html